

# 大間原発建設やめよ

## 函館ウオークに共感次々

大間原発（青森県大間町）建設中止を求める北海道函館市の「バイウオーク」は16日、集会を開き、市内をデモ行進しました。クリスマスが近いこともあり、行進の道なりにある巨大もみの木のツリーをあしらった横断幕を掲げました。

集会で逢坂誠二立憲民主党衆院議員は一安



倍政治はひどい。入管「悪」と短い審議で打ち切法や水道法、漁業法改訂、民主主義を壊すも

のだ」と述べました。

大間原発訴訟の会の竹田とし子代表が11日の札幌高裁口頭弁論を報告。日本共産党の紺谷克孝市議は「フラックアウト（全域停電）を二度と起こさせないため、電力分散化が必要。泊原発に依拠しない方策も含め、議会で見解書を提起している」と語りました。

終了後、サンタクロースの赤い帽子をかぶる観光客でにぎわう雪道をパレード。「大間原発ストップ」と訴えると、多くの人たちが「頑張れ」と激励しました。市戸たか党市議が参加しました。

ツリーをあしらった横断幕を掲げて行進する人たち  
16日、北海道函館市